



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ジィ・シー企画 上場取引所 東  
 コード番号 4073 URL <https://www.gck.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木洋介  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長経営管理本部長 (氏名) 丸山英幸 (TEL) 043-464-3348  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の業績 (2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,493	16.8	△78	—	△98	—	△98	—
2025年6月期第3四半期	1,279	△4.9	△141	—	△161	—	△167	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年6月期第3四半期	△38.96		—					
2025年6月期第3四半期	△66.74		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,870	185	9.9
2025年6月期	2,004	270	13.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 185百万円 2025年6月期 270百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,403	30.3	92	—	55	—	54	—	21.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期3Q	2,538,660株	2025年6月期	2,508,160株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年6月期3Q	817株	2025年6月期	717株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年6月期3Q	2,525,238株	2025年6月期3Q	2,505,597株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、インバウンド需要の継続や賃上げによる雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調となりました。一方、米国の政策動向や地政学リスクの高まり等の海外情勢不安等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス産業においては、多くの業界における人材不足の影響等を受け、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが進められており、あらゆる産業において、業務効率化・競争力強化を図るためのIT投資意欲は継続するものと見込まれております。

このような環境の中、当社はスーパーマーケット・ディスカウントストア等、小売業の新規・既存顧客を中心に、キャッシュレス決済サービス取扱ペイメント及び取扱端末を拡充し、個々のお客様のニーズに沿ったソリューションを提供することでマーケットターゲットの拡大に取り組んでおります。

また、当社は、当社のその他関係会社である株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス(以下、「TMN社」という。)と資本業務提携契約を締結しており、決済事業領域におけるTMN社と当社のサービス・機能を組み合わせ、顧客への提案力を強化することに継続して取り組み、事業の拡大を図っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,493,870千円(前年同四半期比16.8%増)となりました。利益面については、固定費を中心とした販管費の削減に取り組み、営業損失は78,275千円(前年同四半期は営業損失141,045千円)、経常損失は98,376千円(前年同四半期は経常損失161,625千円)、四半期純損失は98,376千円(前年同四半期は四半期純損失167,235千円)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### (ペイメントインテグレーション事業)

ペイメントインテグレーション事業は、受託開発売上は減少しましたが、端末販売が増加し、前年同期に比べて増収となりました。端末販売増加により粗利率が低下した影響等から、黒字化には至りませんでした。

以上の結果、売上高は743,695千円(前年同四半期比84.9%増)、セグメント損失(営業損失)は59,774千円(前年同四半期は113,862千円のセグメント損失)となりました。

#### (ペイメントサービス事業)

ペイメントサービス事業のうち、決済ASPサービス、保守運用サービスの提供等をストック売上として計上しております。当第3四半期累計期間においては、一部サービスの終了等もあったものの、堅調に推移いたしました。

一方で、サブスクについては、継続的なサービスの提供による分はストック売上として計上し、決済端末貸与分については、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)を適用し、リース取引開始日に売上高と売上原価を計上しております。サブスク大型案件の影響があった前年同期に比べ、関連する売上高と売上原価が減少しました。

以上の結果、売上高は750,175千円(前年同四半期比14.5%減)、セグメント利益(営業利益)は10,660千円(同54.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて183,322千円減少し、1,407,114千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が279,932千円、仕掛品が10,871千円増加した一方で、現金及び預金が431,954千円、商品が22,064千円、リース投資資産が24,913千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて49,364千円増加し、463,455千円となりました。これは主に、有形固定資産が1,211千円、自社利用ソフトウェアの開発等により無形固定資産が46,316千円、投資その他の資産が1,836千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ133,957千円減少し、1,870,569千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて58,070千円増加し、1,170,772千円となりました。これは主に、短期借入金が95,000千円、1年内返済予定の長期借入金が16,446千円、未払法人税等が1,226千円、契約負債が41,058千円、賞与引当金が36,073千円増加した一方で、買掛金が21,337千円、未払金が55,010千円、預り金が26,845千円、未払費用

が6,137千円、未払消費税等が22,404千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて107,907千円減少し、513,902千円となりました。これは、長期借入金が107,907千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ49,837千円減少し、1,684,674千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて84,120千円減少し、185,895千円となりました。これは主に、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ7,353千円増加した一方で、新株式申込証拠金が450千円減少したこと、四半期純損失の計上により利益剰余金が98,376千円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期では、当初よりペイメントインテグレーション事業の大型案件の売上を下期に見込んでおり、2025年8月14日に公表した通期業績予想から変更はありません。

今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,220	383,265
売掛金及び契約資産	373,893	653,826
商品	245,508	223,444
仕掛品	3,769	14,641
リース投資資産	112,618	87,704
その他	39,426	44,232
流動資産合計	1,590,436	1,407,114
固定資産		
有形固定資産	21,940	23,152
無形固定資産		
ソフトウェア	100,454	324,241
その他	274,566	97,096
無形固定資産合計	375,021	421,338
投資その他の資産	17,128	18,965
固定資産合計	414,090	463,455
資産合計	2,004,527	1,870,569

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,252	20,915
短期借入金	610,000	705,000
1年内返済予定の長期借入金	244,405	260,852
未払金	101,647	46,636
未払法人税等	5,731	6,958
預り金	48,778	21,932
契約負債	13,048	54,107
賞与引当金	—	36,073
その他	46,838	18,297
流動負債合計	1,112,702	1,170,772
固定負債		
長期借入金	621,810	513,902
固定負債合計	621,810	513,902
負債合計	1,734,512	1,684,674
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	433,459	440,812
新株式申込証拠金	450	—
資本剰余金	317,059	324,412
利益剰余金	△480,783	△579,160
自己株式	△168	△168
株主資本合計	270,015	185,895
純資産合計	270,015	185,895
負債純資産合計	2,004,527	1,870,569

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,279,485	1,493,870
売上原価	925,756	1,080,814
売上総利益	353,728	413,055
販売費及び一般管理費	494,774	491,330
営業損失(△)	△141,045	△78,275
営業外収益		
受取利息	230	998
為替差益	145	—
販売手数料	371	2,930
助成金収入	1,516	2,778
保険解約返戻金	540	—
雑収入	299	228
営業外収益合計	3,103	6,935
営業外費用		
支払利息	7,918	19,084
為替差損	—	339
支払手数料	6,002	6,002
訴訟関連費用	9,744	1,483
その他	17	126
営業外費用合計	23,683	27,037
経常損失(△)	△161,625	△98,376
税引前四半期純損失(△)	△161,625	△98,376
法人税等	5,610	—
四半期純損失(△)	△167,235	△98,376

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことに伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,353千円増加し、資本金が440,812千円、資本剰余金が324,412千円となりました。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	ペイメントイン テグレーション事業	ペイメントサ ービス事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサ ービス	131,198	—	131,198	—	131,198
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	270,949	742,503	1,013,452	—	1,013,452
顧客との契約から生じる収益	402,148	742,503	1,144,651	—	1,144,651
その他の収益(注)3	—	134,833	134,833	—	134,833
外部顧客への売上高	402,148	877,336	1,279,485	—	1,279,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	402,148	877,336	1,279,485	—	1,279,485
セグメント利益又は損失(△)	△113,862	23,633	△90,229	△50,816	△141,045

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△50,816千円は、各報告セグメントに配分して  
いない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等であり  
ます。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	ペイメントイ ンテグレイシ ョン事業	ペイメントサ ービス事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサ ービス	526,911	—	526,911	—	526,911
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	216,783	748,113	964,897	—	964,897
顧客との契約から生じる収益	743,695	748,113	1,491,808	—	1,491,808
その他の収益(注)3	—	2,061	2,061	—	2,061
外部顧客への売上高	743,695	750,175	1,493,870	—	1,493,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	743,695	750,175	1,493,870	—	1,493,870
セグメント利益又は損失(△)	△59,774	10,660	△49,114	△29,161	△78,275

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△29,161千円は、各報告セグメントに配分してい  
ない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等であり  
ます。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計  
期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	24,277千円	58,233千円